

臨地実習における実習指導者の持つコンピテンシー

著者	馬場 好恵
発行年	2018-03-09
URL	http://hdl.handle.net/10422/00012396

氏 名	馬場 好恵
学 位 の 種 類	修士 (看護学)
学 位 記 番 号	修士第230号
学 位 授 与 の 要 件	学位規則第3条第1項
学 位 授 与 年 月 日	平成30年 3月 9日
学 位 論 文 題 目	臨地実習における実習指導者の持つコンピテンシー
審 査 委 員	主査 教授 河村 奈美子 副査 教授 伊藤 美樹子 副査 教授 相見 良成

論文内容要旨

※整理番号	235	(ふりがな) 氏名	ばば よしえ 馬場 好恵
修士論文題目	臨地実習における実習指導者の持つコンピテンシー		
<p><研究目的・意義> 臨地実習を通して実習指導者が持つコンピテンシーを明らかにすることを目的とし、実習指導者の指導能力を向上するための教育支援のあり方への示唆を得る。</p> <p><研究方法> 対象は、保健師助産師看護師実習指導者講習会を受講し1年以上の指導経験のある看護師とした。調査方法は、参加観察および面接による質的記述的研究とした。分析方法は、参加観察のフィールドノーツと面接の逐語録を作成し、コード化、カテゴリー化を行った。分析は、Spencer&Spencerのコンピテンシーの概念を参考に行い、実習指導者のコンピテンシーを抽出した。真実性・信憑性については、メンバーチェックングを行い、質的研究の経験者によるスーパーバイズを受けた。</p> <p><結果> 対象は、滋賀県内の2つの施設より3名の実習指導者より研究の承諾を受け、参加観察、面接調査を行った。臨地実習における実習指導者のコンピテンシーとして、9つのサブカテゴリーと、4つのカテゴリーが生成された。カテゴリーは、【学生を本当の実践の場につれていける能力】【周囲を巻き込みながら学生中心のネットワークをつくる能力】【看護師のロールモデルとして行動できる能力】【学生の経験を学びに変える能力】の4つが生成され、4つの臨地実習における実習指導者の持つコンピテンシーが明らかとなった。</p> <p><考察> 【学生を本当の実践の場につれていける能力】や【学生の経験を学びに変える能力】から実習指導者は省察的学習を実践できることが明らかとなった。【周囲を巻き込みながら学生中心のネットワークをつくる能力】や【看護師のロールモデルとして行動できる能力】から実習指導者がコンピテンシーの根源的特徴として優れた実践家としての価値観や対人関係能力を持っていることが明らかとなった。</p> <p><総括> 本研究では、実習指導者の4つのコンピテンシーが明らかとなった。今後は質の高い実習指導者を適正評価し、この4つのコンピテンシーをもとに継続教育を整えていく。</p>			

(備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1,200字程度)